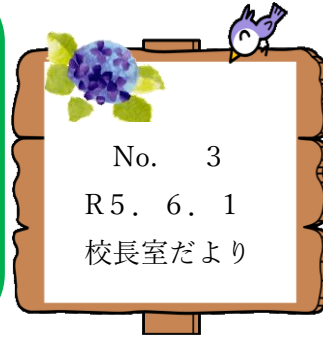




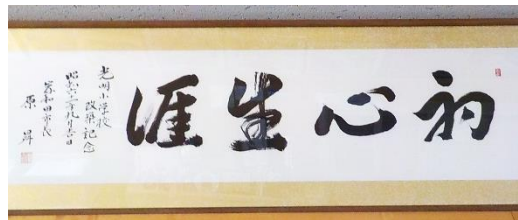
おか さくらの丘だより

岸和田市立光明小学校 校長 笠川智香



「初心生涯」

紫陽花に 雫あつめて 朝日かな



長く続く雨には、少し気分も下がり気味になります。雨に濡れた鮮やかな紫陽花の花など、この時期にしか見られない美しい光景に出会うと、心も清々しくなりそうです。

校長室に飾られている額に「初心生涯」と書か

れた書画があり、作者は、光明小学校出身の元岸和田市長 原 昇氏です。昭和61年の改築記念に寄贈されたものですが、この「初心生涯」と同じような意味の「初心忘るべからず」ということわざがあります。私はこの言葉がとても好きです。意味は、「物事に慣れると慢心してしまいがちだが、最初のころの志を忘れてはいけない」です。初めてのことに取り組む際の新鮮な気持ち、初々しい気持ち以上に自分の未熟さを忘れてはならない。つたなかった時のことを忘れてはいけない。これは仕事や人生にも通じる考え方で、つまり初心は一生続くものなのだと、教えてくれます。

一学期も後半になりました。4月初めの新しい気持ちを思い出し、立てた目標に向かって努力することを心がけましょう。



宝箱

幸せの白青インコ

*インコは自然界では目立つので、生き残るのは難しいようです。

ある日、校長室に1本の電話が入りました。それは地域の方からの電話でした。内容は、飼っていた青と白色のインコが逃げてしまって、もしも何か情報があれば教えてほしい、といったものでした。なぜなら、去年の校長室便り5月号で、「幸せの黄色いインコ」のタイトルで、逃げたインコを運動場で見つけた子どもたちが捕まえ、無事に飼い主さんのもとに届けられた記事を書きました。その記事を地域観覧版で読んでいたことを思い出し、



かすかな望みでお電話をくださいました。早速、全校集会で情報提供を求めました。いくつか情報をくれた児童もいてうれしかったです。しかし、その日から15日後、ある保護者の方から「白青のインコを子どもたちが見つけた。」と情報が入り、時間との格闘の末、教頭先生が捕まえました。その時のうれしかったことは忘れられません。もちろん飼い主さんも駆けつけ、後日にもご来校され感謝いただきました。見つけた3年生3人と保護者の方の情報が、小さな命を救うことにつながりました。本当にありがとうございました。

「雨降り小僧」 芸術鑑賞 手塚治虫作・・・5/24(水)

このお話は、傘をかぶった日本の妖怪「雨降り小僧」と少年の友情を描いた物語です。少年のはいていた長靴が欲しくて3つの約束をかわしました。約束を果たした雨降り小僧は、少年に長靴をもらうために橋の下で待ち続けます。・・・そして40年たったある日、約束を突然思い出すのです。そして、ラストシーンでは、大人になった少年の目からだんだんと消えていく雨降り小僧の姿に、胸を打たれます。



避難訓練（不審者）のための教職員研修・・・5/25(木)

6月は学校の安全確保・安全管理の日です。そのため、6月1日（木）に不審者対応の避難訓練を行います。本校では毎年、事前に職員研修を実施しています。今年度も警察の方をお招きし、職員の不審者対応にアドバイスや指導をいただきました。児童の皆さんも、当日の訓練を真剣に行いましょう。



園芸委員



休憩中の風景



虫探しに夢中



にこにこ光明の開校式
上級生が運営スタッフです

市P総会・・・5/19(金)
前PTA会長・市P代表・
校長で参加しました。

